



# SDGs 推進プロジェクト『あゆみ』

～地域のために 未来のために～



SDGs推進プロジェクト

あゆみ



2021年3月期  
筑波銀行

## ～ 地域のために 未来のために ～

- ・ 筑波銀行は、東日本大震災以降、地域復興・地域振興支援プロジェクト『あゆみ』の活動を通し、地域経済や地域社会の面的な復興および振興に取り組んで参りました。
- ・ コーポレートスローガン『地域のために 未来のために』の実現に向け、国連が定めた「持続可能な開発目標SDGs」の趣旨に賛同し、「筑波銀行SDGs宣言」を2019年4月に制定しております。
- ・ 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、地域経済、企業活動、人々の暮らしなど、社会全体に大きな影響や変化がありました。
- ・ 筑波銀行は地域社会に対し、様々な課題に対し長期的な視点で解決策を考え、お客様と従業員を大切に持続可能なビジネスモデルの確立に向けて取り組んでおります。
- ・ **SDGs推進プロジェクト『あゆみ』**を進めることにより、新型コロナウイルス感染症への対応を含めた社会的課題解決に取り組み、持続的成長を目指していきます。



# 目次

## 筑波銀行SDGs 宣言

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』概要…………… P. 3

## SDGs推進プロジェクト『あゆみ』

2020年度の推進について……………P. 4

### 1. 地域経済の持続的な発展に向けて

- 1.1 ローカル・イノベーション……………P. 6
- 1.2 ローカル・ブランディング……………P. 7-9
- 1.3 ライフステージに応じた  
トータルソリューションの提供……………P. 10-11

### 2. 持続可能な地球環境の実現に向けて

- 2.1 再生可能エネルギー利用に向けた取り組み……………P. 13
- 2.2 環境保全活動への協力……………P. 14
- 2.3 事業活動に伴う環境負荷低減の推進……………P. 15
- 2.4 ESG投資・金融……………P. 16-17

### 3. 地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて

- 3.1 次世代育成……………P. 19
- 3.2 スポーツ・文化事業への協力……………P. 20
- 3.4 ダイバーシティへの対応……………P. 21
- 3.5 住み続けられるまちづくりに向けた取り組み……………P. 22-23

### 4. 責任ある事業の推進に向けて

- 4.1 コンプライアンスの徹底
- 4.2 持続的成長に向けたガバナンス体制……………P. 25

### 5. 新型コロナウイルス感染症への対応

- 5 新型コロナウイルス感染症への対応……………P. 27

## SDGs 推進プロジェクト『あゆみ』の

2021年度の推進について……………P. 28-29



SDGs推進プロジェクト  
**あゆみ**

# 筑波銀行SDGs宣言

## ① 地域経済の持続的な発展に向けて

- ・私たちは、保有する多様なネットワーク、金融仲介機能を発揮して、お客さまや地域の課題の解決を通じて、地域経済の持続的な発展に貢献します。

## ② 持続可能な地球環境の実現に向けて

- ・私たちは、環境にやさしい事業運営や再生可能エネルギー利用の促進等の活動を通じて、持続可能な地球環境の実現に貢献します。

## ③ 地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて

- ・私たちは、地域社会における課題や要請に耳を傾け、事業活動を通じてその解決を支援し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

## ④ 責任ある事業の推進に向けて

- ・私たちは、コンプライアンスの徹底やガバナンス体制の整備を進め、持続可能な責任ある事業の推進体制の整備を進めます。

# SDGs推進プロジェクト『あゆみ』概要

## ① 名称

SDGs推進プロジェクト『あゆみ』  
～地域のために 未来のために～

## ② 計画期間

2019年4月 ～ 2022年3月（3年間）

## ③ 基本方針

- ・2019年4月、コーポレートスローガン「地域のために未来のために」の実現に向け、国連が定めた「持続可能な開発目標 SDGs」の趣旨に賛同し、「筑波銀行SDGs宣言」を制定しました。
- ・SDGsの目指す「持続的で多様性と包摂性のある社会」の実現に向け、地域振興支援プロジェクト『あゆみ』をSDGs推進プロジェクト『あゆみ』にリニューアルし、社会的課題の解決のための施策を展開し、当行を含む地域社会の持続的成長を目指してまいります。

# SDGs 推進プロジェクト『あゆみ』

# 2020年度の推進について

## 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて

### 2020年度SDGs推進プロジェクト『あゆみ』メニュー

筑波銀行SDGs宣言 ～地域のために 未来のために～

社会的課題の解決

持続的成長

地域の抱える社会的課題の解決を通じ、地域とともに成長する持続的成長モデルの構築

・地域金融機関として事業性評価に基づく共通価値の創造 / ・地方創生等の取り組みの推進



新型コロナウイルス感染症の影響に対しては地域金融機関として取り組まなければならないと考え、2020年度のSDGs推進プロジェクト『あゆみ』は、新型コロナウイルス感染症への取り組みを積極的に対応し、地域金融機関として「とことん支援する」という考えを持って行動しました。

## 5 新型コロナウイルス感染症への対応

5-1新型コロナウイルス感染症の影響によるお客様への支援

- 新型コロナウイルスの影響を受けているお客様への相談対応
- 新型コロナウイルスの影響に対応すべく資金繰り支援の強化
- ベンチャー企業への支援体制の強化
- 医療機関への支援体制の強化
- 販路支援の強化

5-2行政、公的機関への支援

- 行政、公的機関へ新型コロナウイルス感染症の影響への対応

5-3従業員が安心して働ける体制

- 従業員への新型コロナウイルス感染症の影響への対応

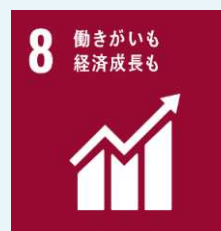
# 1. 地域経済の持続的な発展に向けて

私たちは、保有する多様なネットワーク、金融仲介機能を発揮して、お客さまや地域の課題の解決を通じて、地域経済の持続的な発展に貢献します。

- 1.1 ローカル・イノベーション ※1
- 1.2 ローカル・ブランディング ※2
- 1.3 ライフステージに応じたトータルソリューションの提供

※1 ローカル・イノベーション…地域を支えることが期待されるベンチャー企業などの創業支援を行います。

※2 ローカル・ブランディング…「地域発の商品・サービスのブランド化」と「地域イメージのブランド化」を結び付け、好循環を生み出し、地域外からの人・資金を呼び込み、地域経済の発展を図ることを言います。

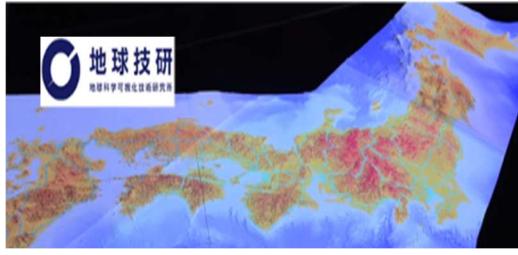


1.1

# ローカル・イノベーション ～ベンチャー企業育成支援への取り組み～

## 新産業育成に向けたベンチャー企業育成支援の取り組み強化

- 『つくば地域活性化ファンド』による起業家支援
- ベンチャー支援を通じての地域経済の活性化を目的として自前の投資ファンドを設立し、エクイティ投資によりそれまでは対応できなかった技術系ベンチャーの創業支援にも積極的に取り組んでいます。



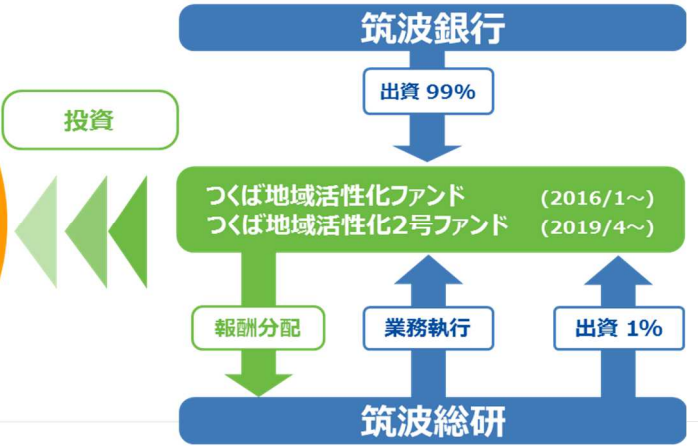
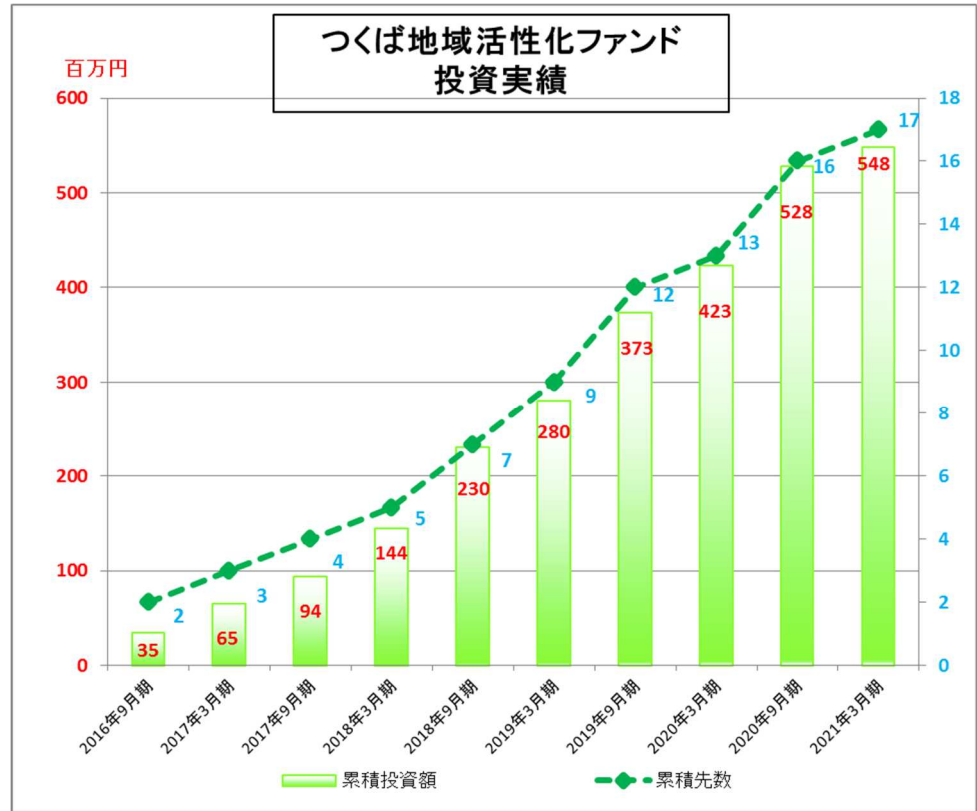
地図データ解析



超小型衛星



自動追従型搬送用  
ロボット



## ローカル・ブランディング ～行政と連携した地域商社事業への支援～



### ① 地域活性化DMO推進事業への協力

- ・ 当行はかすみがうら市と連携し、地域活性化DMO『かすみがうら未来づくりカンパニー』に出資し、運営を継続支援しています。サイクリング事業を核とし、地域商社機能を含めた様々な事業を展開している中、ECサイトの支援、商品のブラッシュアップ支援等を実施しています。
- ・ また地域に眠る貴重な資産である古民家を地域拠点として多様な活用方法を構築するため、茨城県ブランド向上事業における古民家改修第1号物件として、2020年7月に「ゲストハウス古民家江口屋」を協働でオープンしました。



地産地消のレストラン



サイクリング事業



古民家活用事業



# ローカル・ブランディング ～地域資源ブランディングへの取り組み～



## ② 地域資源のブランディング化支援の取り組み強化

〔行政と連携した地域の優れた製品選定支援〕

- ・ 当行と地域振興協定を締結している2自治体において、観光振興や地域魅力発信のため、地域の優れた産品を市の推奨品として選定し、その事業に協力しています。

### <桜川市>

2019年から「さくらがわ百貨」として選定し、当行役員が「さくら川百貨選定審査委員会」の委員長に、関係先が委員に就任しています。2020年度は3回目となる選定に協力しました。

### <石岡市>

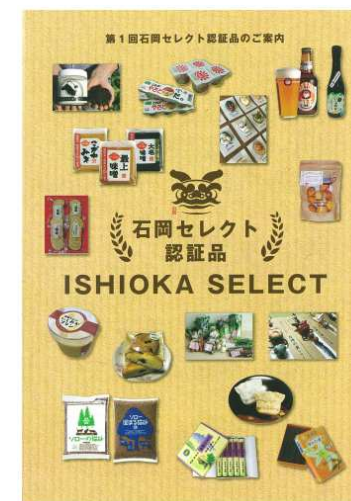
2020年から「石岡セレクト」として選定し、当行役員が運営委員を委嘱されています。2020年11月に選定委員会が開催され、15事業者17品目が選定されました。



「さくら川百貨」  
令和二年度選定品カタログ



「さくら川百貨」  
選定委員会の様子



石岡セレクト認証品カタログ

# ローカル・ブランディング ～SDG s についての醸成・広報活動～



## ③ SDG s セミナーの開催

- 独立行政法人国際協力機構（JICA）及び、三井住友海上火災保険(株)と連携し、中小企業向けSDG s の最新動向や、SDG s を活用した海外でのビジネスチャンス拡大の一助となるオンラインセミナーを開催しました。

[WE B開催]中小企業のためのSDG sセミナー  
2021年2月17日(水) 13時～14時半 参加費無料

SDG sは政府や行政機関のみならず民間企業の経営指針としても急速に注目を集めています。SDG sの達成への貢献は企業価値の向上に好影響を与えるものであるとの理解が深まり、今後も取組企業の増加が予想されます。

筑波銀行はコーポレートスコーン「地域のために 未来のために」の実現に向け、「筑波銀行SDG宣言」を2019年4月に制定しております。今後、地域の中小企業向けのSDG sとは何か、その理解を深めるとともに積極的に取りような支援を受けられるのを解明し、今後中小企業等向けSDG sに特化した取組み、国内のみならず海外でのビジネスチャンスの拡大が図られるための一助とするセミナーを開催する予定です。

あゆみ

**[第1部] 13:00～14:00**  
「SDG sの最新動向と地域での活かし方」  
～With/Postコロナ時代を踏まえて～

講師：井上 知巳 (いのうえ ともみ)  
MS&ADインターネット戦略株式会社 危機管理・コンプライアンスグループ  
エグゼクティブ・上層コンサルタント  
略歴：1987年大正海上火災保険（現：三井住友海上火災保険）入社  
総務・法務部門（通算13年）などを経て、2010年インターネット戦略部に転出。  
企業・団体に對する各種コンサルティングや研修等に従事。

**[第2部] 14:00～14:30**  
「中小企業・SDG sビジネス支援事業の活用」

講師：沢澤 李雄 (しふさむ たかお)  
独立行政法人国際協力機構（JICA）筑波センター  
連携推進課 専任講師  
略歴：1989年国際協力事業団（現：独立行政法人国際協力機構）入団。  
ケニア共和国で業務中の技術協力プロジェクトに派遣。経理部経理第1課、無償  
資金協力部、農村開発部次長とを経て現職。  
中小企業・SDG sビジネス支援事業の概、大学との連携推進等に従事。  
※中小企業・SDG sビジネス支援事業とは途上国の課題解決に繋がる可能性のある製品、  
技術、アイデアを持つ企業様の海外事業化調査や普及・支援を支援する事業です。

主 催：株式会社筑波銀行  
共 催：(株)国際協力機構（JICA）筑波センター、三井住友海上火災保険株式会社

お申し込み方法：メールまたは裏面の参加申込書のFAXにてお申し込みください。  
メールの送信アドレスは申し込み受付開始時刻に自動的に切り替えられます。  
※お申し込みの受付は、お申し込み開始時刻からとなります。ご了承ください。

お申し込み期限：2021年2月12日(金)

定 員：80名(定員になり次第受付が終了させていただきます。お早めにお申し込み下さい)

お問い合わせ先：株式会社筑波銀行 ビジネスソリューション部  
TEL 029-859-8111

SDG s セミナーパンフレット

## ④ いばらき古民家活用セミナーの対応

- いばらき県古民家活用合同研究会の委員を当行役員が委嘱されています。茨城県内にある貴重な資源である古民家を活用し、茨城県のイメージアップ・ブランド力の向上を図ることを目的として活動しています。
- 2020年12月に「いばらき古民家活用フォーラム」が開催され、古民家活用にあたっての事業計画について講演を行いました。

オンライン  
いばらき古民家活用フォーラム  
～古民家を活かし、古民家を楽しむ～ 参加費無料(事前申し込み)

12月12日(土)

【第1部】13:00～14:30(定員500名)  
【第2部】15:00～16:00(定員各30名)  
※同日開催で合計180名(参加者)を募集いたします。

第1部 講演会 (09分)  
「11古民家を活用したまちづくり  
～これからの古民家～ (09分)」  
山田 健 氏  
古民家活用推進協議会 会長  
【2】いばらきの古民家の魅力と活かし方  
山本孝子 氏  
【3】古民家活用にあたっての事業計画と資金計画  
高田一博 氏

第2部 交流会 (09分)  
「古民家活用推進協議会」の活動について  
古民家活用推進協議会 会長 山田 健 氏  
古民家活用推進協議会 副会長 山本孝子 氏  
古民家活用推進協議会 理事 高田一博 氏

[注] 茨城県政府企画部地域振興課



セミナーの様子

# ライフステージに応じたトータルソリューションの提供

## ～販路開拓支援への取り組み～

### ① リモートシステムを併用した商談会

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から都内大手との商談会など、リモートシステムを活用した商談会を開催し、販路開拓支援の取り組みを図りました。



Web会議システム活用によるリモート商談風景

#### 開催実績

2020年4月～2021年3月

- ・ 当行取引先同士での商談会 / 105商談
- ・ 大手バ イヤ-招聘による商談会 / 76商談
- ・ 合計 181商談

商談数

181商談

成約数

41件



# ライフステージに応じたトータルソリューションの提供

## ～ハッピーエールサポート～



### ② 中小企業向け従業員の福利厚生の実施

- ・ 中小企業のお客様向けに、従業員の福利厚生の実施を図るパッケージ商品「ハッピーエールサポート」の取り扱いを開始しました。福利厚生サービスを取り入れることで、従業員の生活の安心と充実を図り、従業員の定着や優秀な人材の採用に繋がることを目的としています。金融取引、生活応援、研修・セミナーの3つのサービスで構成しています。



【医療相談アプリ】  
連携協定締結企業  
株式会社リーバー



#### 金融取引 サービス

- ・ライフイベントに対応した個人ローンを特別金利でご案内  
(ハッピーエール専用フリーローン、マイカーローン、教育ローン)
- ・住宅ローン 特別金利+自然災害時返済一部免除特約付帯特典あり
- ・ATM利用手数料割引
- ・職域セミナー・出張相談の開催

#### 生活応援 サービス

- ・会員証やパスポートブックの提示で、飲食店や旅行・レジャー施設等の提携店で優待が受けられる
- ・専用サイトにて、日常生活での様々なニーズに役立つ施設や店舗をご紹介

#### 研修・セミナー サービス

- <下記セミナーのYouTube配信※一部DVD貸出>
- ・ビジネスや暮らしに役立つセミナー
- ・生活に役立つ内容

『ハッピーエールサポート』  
サポーター：つくしちゃん

## 2. 持続可能な地球環境の実現に向けて

私たちは、環境にやさしい事業運営や再生可能エネルギー利用の促進等の活動を通じて、持続可能な地球環境の実現に貢献します。

- 2.1 再生可能エネルギー利用に向けた取り組み
- 2.2 環境保全活動への協力
- 2.3 事業活動に伴う環境負荷低減の推進
- 2.4 ESG投資・金融

世界ではさまざまな自然災害が増えており、その原因のひとつには地球温暖化が関係していると言われています。

地球温暖化は二酸化炭素の増加が主な原因です。再生可能エネルギーへの積極的なサポート、環境保全活動、環境負荷低減に向けて取り組んでいます。



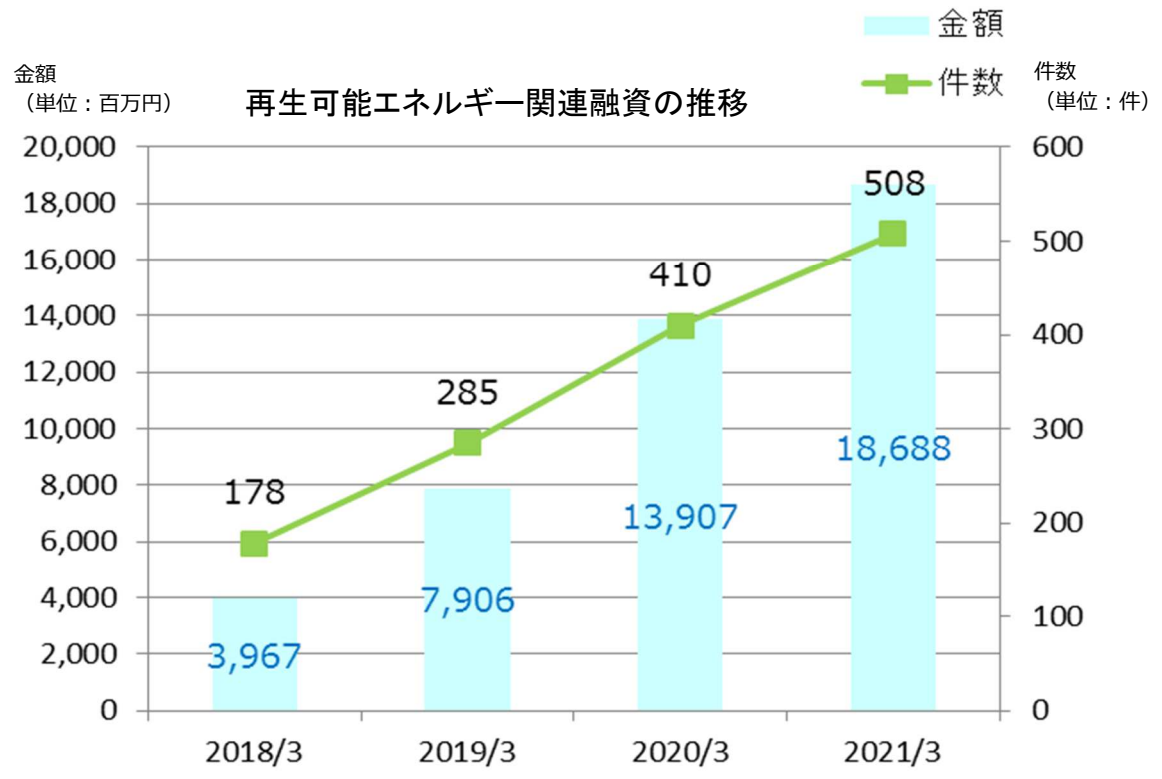
2.1

# 再生可能エネルギー利用に向けた取り組み

～環境事業への積極的なサポート～

## 再生可能エネルギー事業へのファイナンスの取り組み強化

- ・環境にやさしい再生可能エネルギー施設等、環境事業への積極的なサポートに取り組んでいます。太陽光発電設備資金、風力発電設備資金などの環境関連融資の推進を通じて、環境に配慮する（CO2排出の削減を目指す）お客様を支援しています。



※金額・件数ともに2018年3月以降の累計

## 環境保全活動への協力



### ① 森林保全への取り組み

### ～ボランティアを通して環境保全への取り組み～

- ・美しい健全な森林を次世代へ引き継いでいくために「筑波銀行あゆみの森」六斗において毎年、新入行員と頭取以下役員による記念植樹や下草刈りを実施するなど、森林保全活動に取り組んでいます。



新入行員による記念植樹

≪「筑波銀行あゆみの森」つくば市≫

取り組み実績  
〔累計植樹本数〕

485本  
(2012～2021)

## 事業活動に伴う環境負荷低減の推進

### ～CO2削減の取り組み～



#### ① 行用車削減等の取り組み

- ・ 行用車の計画的な削減により、気候変動の要因とされるCO2削減につながりました。
- ・ エコドライブ（急発進・急加速・空ふかし・不要な荷物の積載等の防止）を実践しています。
- ・ 2021年度においてガソリンを1年間で約4万リットル減量したことにより、CO2を年間96.6 t 削減に貢献しています。

|             | 2020年3月  | 2021年3月  |
|-------------|----------|----------|
| 車両削減台数（累計）  | 130台     | 150台     |
| ガソリン削減量（年間） | 33,509 ℓ | 40,922 ℓ |
| CO2削減量（年間）  | 77.7 t   | 94.9 t   |



※ガソリン1ℓあたりCO2削減2.32kgにて算出





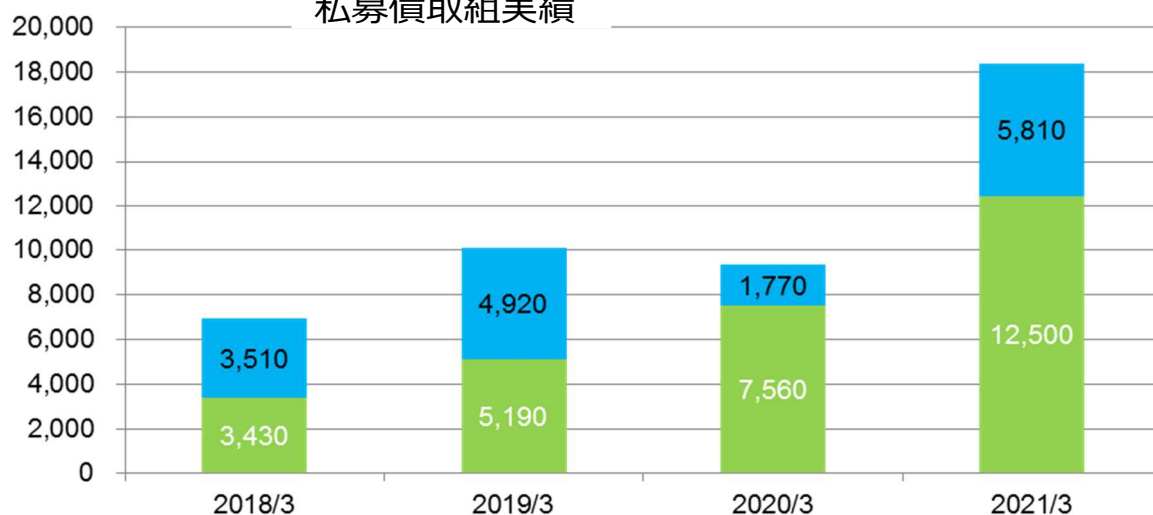
### ① 寄贈サービス付SDGs私募債『地域の未来応援債』の取り組み

- ・ 当行が、私募債発行企業から受け取る発行手数料の一部を地域の学校や地方公共団体に寄付または寄贈するサービスが付いた私募債です。
- ・ 2020年5月に新型コロナウイルス感染拡大防止のため日々感染リスクと背中合わせで活動している「医療機関」を寄贈対象先とした寄贈サービス付SDGs私募債「地域の医療サポート債」の取扱いを開始しました。



単位：  
百万円

私募債取組実績



■ 私募債発行金額(寄贈サービス無し)

■ 私募債発行金額(寄贈サービス付)

#### これまでの寄贈品・支援金の一例

- 砂遊びセット
- 図書
- 三輪車
- スポーツ用品
- プロジェクター
- I Pad
- カメラ
- 医療従事者支援金

※贈呈先のご要望に応じ寄贈しています。



## ②「CBIプログラム認証付きサステナビリティボンド」への投資

- ・国連の持続可能な開発目標（SDGs）を達成するため、ESG投資・金融の推進を通じて、地域社会の持続的な発展に向けて貢献しています。
- ・ESG投資として、サステナビリティボンドやグリーンボンドに投資しています。



「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が

- ①環境改善効果があること（グリーン性）
- ②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の①・②双方を有する債券です。

本債券は、複数の国際基準に適合している旨、国際的な第三者評価機関であるDNV GLによる検証と、厳格な国際基準を設けるClimate Bonds Initiative（CBI：低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGO）からのプログラム認証（一度の認証で継続的な債券発行が可能となる制度）をアジアで初めて取得しています。

<投資先>

- ・2020年6月 東京地下鉄
- ・2020年8月 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

その他東京都グリーンボンド・SDGs投資信託等にも投資している。

- ・2020年10月 東京都（グリーンボンド）
- ・2021年4月 トヨタ自動車（ウーブン・プラネット債）

# 3. 地域に暮らす人々の豊かな社会の実現に向けて

私たちは、地域社会における課題や要請に耳を傾け、事業活動を通じてその解決を支援し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

- 3.1 次世代育成
- 3.2 スポーツ・文化事業への協力
- 3.3 ダイバーシティへの対応
- 3.4 住み続けられるまちづくりに向けた取り組み

地域社会が持続していくためには、そこに住むすべての人々が、豊かに暮らしていくことが重要です。金融教育、経営人材の育成やスポーツ・文化事業への協力、ダイバーシティ※1に対して積極的に取り組んでいます。

また住み続けられるまちづくりに向けた取り組みとして、自治体と連携して観光資源の発掘にも協力しています。

※1ダイバーシティ…性別、人種、国籍、宗教等の多様性を活かしていく取り組み



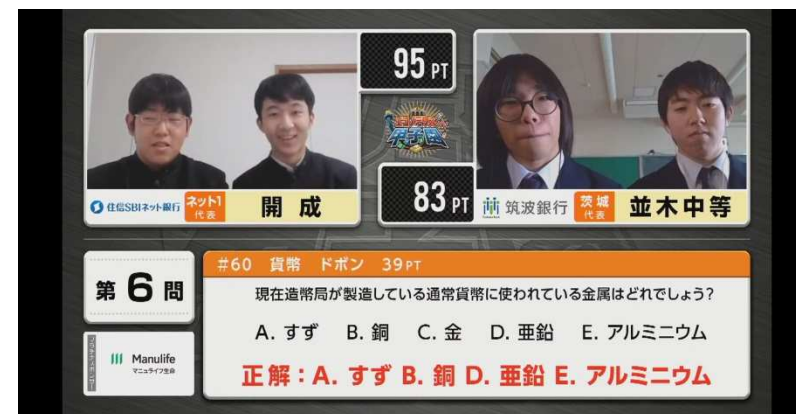


### ① 全国高校生金融経済クイズ選手権 「エコノミクス甲子園」 茨城大会の開催

- ・ 当行は、高校生が楽しみながら金融経済に興味を持ち、将来社会人として必要な経済知識を学ぶきっかけを提供するため、「エコノミクス甲子園」茨城大会を開催しています。
- ・ 「エコノミクス甲子園」茨城大会は、平成24年より毎年開催しており、県内から多くの高校生が集結し、金融経済知識を競い合っています。
- ・ 2020年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、参加生徒の安全・健康面を考慮しオンライン開催となりました。

### ② 国立大学法人茨城大学と連携協力にかかる協定書を再締結

- ・ 2012年11月30日に締結した連携協定の内容を見直し、改めて『国立大学法人茨城大学と株式会社筑波銀行の連携協力にかかる協定書』を再締結しました。
- ・ 2012年11月30日に締結した連携協定は、東日本大震災からの復興を中心とした地域経済活性化や県北の観光振興を共同で進める内容でしたが、昨今、産学官金連携の目的が多様化していることやSDGs推進への取り組みも重要となっており、協定内容を見直し、再締結による取り組み強化を図っていきます。



エコノミクス甲子園オンラインでの様子（全国大会）

- (1) 大学発ベンチャーに関する情報交換及び支援
- (2) 新技術・新規事業分野に関する情報交換及び支援
- (3) 人的支援及びインターンシップの実施
- (4) 講演及びセミナーの開催
- (5) SDGsの推進
- (6) その他本協定の目的を達成するために必要な事業

再締結した連携の主な内容

## スポーツ・文化事業への協力 ～スポーツ事業への支援～



### スポーツ事業への協力

- ・ 例年開催している、筑波銀行「あゆみ」杯・茨城県学童軟式野球大会はコロナ禍の影響を踏まえ選手や関係者の安全面を優先し、大会中止としました。
- ・ 筑波銀行は茨城県内に本拠地を置くプロスポーツチームのスポンサーとなり応援しています。スポーツ振興を通じて地域の活性化創出に協力しています。
- ・ プロスポーツにおいてもコロナ禍の影響により、集客が困難な状況が続きました。つくば市を拠点とするバレーボールチーム「つくばユナイテッド・サンガイア」において、「筑波銀行ホームゲーム特別協賛」による小中学生に試合の観戦してもらう計画をしていますが、残念ながら無観客試合となりましたが、選手たちはオンラインの向こうにいるファンのために一生懸命戦い勝利しました。



「あゆみ」杯  
2019年決勝の様子



水戸ホーリーホックによる  
サッカー教室



無観客試合となりました



筑波銀行が  
特別協賛をしました

## ダイバーシティへの対応 ～女性が活躍できる職場環境の確立～



### ① 子育てママミーティングの開催

- ・ 育休中や職場復帰したママ行員の情報共有の場として定期的を開催しています。子育て中の悩みや、ママと子どもの健康面、保育園の手続きについての情報交換を積極的に実施しています。コロナ禍の影響により本年度はZOOMを活用してオンラインで開催しました。



オンラインでの子育てママミーティング

### ② 女性の活躍応援プラン

- ・ 「女性が活躍する職場」を目指し、「働きやすい職場」「働きがいのある職場」を実現するプランを推進しています。育児・介護の両立支援やキャリアアップ支援の具体的な施策で女性の活躍を積極的にサポートする環境を整備しています。

|         |         |         |
|---------|---------|---------|
|         | 2020年3月 | 2021年3月 |
| 女性役席者比率 | 13.6%   | 15.9%   |

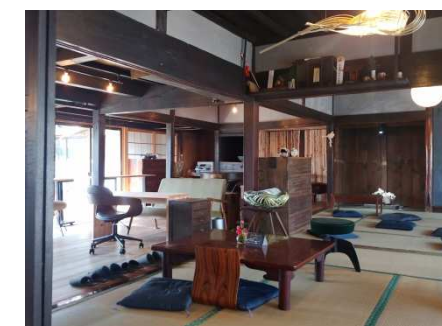
# 住み続けられるまちづくりに向けた取り組み

## ～自治体等外部機関と連携した取り組み事例～



### ①自治体と連携したまちづくりに向けた取り組み

- ・ 当行はつくば市と「包括連携協力に関する協定」を締結し、地域活性化に協力して取り組んでいます。
- ・ つくば市では2019年より、周辺市街地（通称R8（リージョンエイト））の活性化を目的に地域活性化プランを公募する「つくばR8地域活性化プランコンペティション」を開催していきました。そのコンペに当行役員が審査員として協力しました。
- ・ 2020年度に採択された事業の1つに筑波大学の学生（当時）が計画した、『古民家再生プログラム「工芸×IoT」で最先端の地域活性化』というプランがあり、コンペ後に当行へ事業の相談を受け、取り組みに協力しました。



古民家を再生させ、コワーキングスペース、地域産品を販売する交流拠点「イリアイテンポ」オープンに協力しました。



コンペの事業成果報告会の状況がYouTubeでライブ配信されました

## 住み続けられるまちづくりに向けた取り組み



### ②自治体と連携した観光振興策

- ・ 当行は筑西市と2016年5月に「筑西市の地域振興に関する協定」を締結し、同年8月「筑西市観光振興協議会」が発足し、現在まで当行役員が会長の委嘱を受けています。
- ・ 2021年3月に同協議会のアクションプランの中の『インバウンド対策の推進』の一貫として、コロナ禍の中、訪日外国人が見込めない状況ではあるも、新型コロナウイルス収束後のインバウンド誘致を目的として、筑西市の観光名所をフェイスブックなどのSNSで発信してもらおうと、『筑西市インフルエンサーファムツアー』と『筑西市茨城県在住ベトナム人対象モニターツアー』の観光バスツアーを開催しました。
- ・ 参加した在日ベトナム人のほとんどが筑西市に来るのが初めての方が多く、訪問した観光地に高い関心を持ち、たくさんの写真を撮って積極的にSNSで発信していました。



インフルエンサーの皆さん



廣澤美術館 庭園前で記念写真



## 4. 責任ある事業の推進に向けて

私たちは、コンプライアンスの徹底やガバナンス体制の整備を進め、持続可能な責任ある事業の推進体制の整備を進めます。

### 4.1 コンプライアンスの徹底

### 4.2 持続的成長に向けたガバナンス体制

地域金融機関として、お客様から信頼され、なくてはならない銀行となるためにはコンプライアンスの徹底は最重要課題ととらえています。また持続的な成長・企業価値の向上を目指してガバナンス体制を引き続き強化していきます。



## 持続的成長に向けたガバナンス体制

～持続的な成長・企業価値の向上を目指して～



### SDGsを通じたガバナンス体制の構築に向けて

- ・2020年12月、国が2050年までのカーボンニュートラルの実現を宣言したことで、経産省、環境省、内閣府等において、SDGs関連の様々な施策を打ち出されました。また、金融庁においても「ESGは金融機関の経営にとって不可欠」との情報を発信するなど、直近1年で社会情勢は加速度的に変化しています。また2021年3月31日に金融庁・東証が、CG（コーポレートガバナンス）コードにおいて、TCFDを導入するよう今後改正を予定していると発表したことから、この流れは今後さらに加速すると予想されます。
- ・筑波銀行はESGを考慮した更なる事業性評価の深掘りを実施するために、営業店・本部態勢を整備していきます。TCFDについては、行内にタスクフォースを発足し、CGコードへの対応を含めた協議を開始しました。

#### ※TCFD…気候関連財務情報開示タスクフォース

各国の中央銀行総裁および財務大臣からなる金融安定理事会（FSB）の下部組織として設立。2017年6月に自主的な情報開示のあり方に関する提言（TCFD報告書）を公表。投資家に適切な投資判断を促すための一貫性、比較可能性、信頼性、明確性をもつ、効率的な気候関連財務情報開示を企業へ促すタスクフォース。



## 5. 新型コロナウイルス感染症への対応

- 5.1 新型コロナウイルス感染症の影響によるお客様への支援
- 5.2 行政、公的機関への支援
- 5.3 従業員が安心して働ける体制

新型コロナウイルス感染症の影響に対しては地域金融機関として取り組まなければならないと考え、2020年度のSDGS推進プロジェクト『あゆみ』は、新型コロナウイルス感染症への取り組みを積極的に対応し、地域金融機関として「とことん支援する」という考えを持って行動しました。

## 新型コロナウイルス感染症への対応

### 消毒用アルコールを医療機関に寄贈しました。

- ・新型コロナウイルスの感染拡大するなか、感染リスクと向き合いながら最前線で戦っている医療機関を応援すべく、地域振興協定締結先かつ指定金融機関先等当行と密接な関係である北茨城市（北茨城市民病院）、桜川市（さくらがわ地域医療センター）の公的病院へ消毒用アルコールをそれぞれ寄贈いたしました。



北茨城市民病院へ贈呈



さくらがわ地域医療センターへ贈呈

### 医療従事者応援金に寄付しました

- ・茨城県が実施する「茨城県新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援金」の趣旨に賛同し、筑波銀行ボランティアクラブより、茨城県に対し応援金を寄付いたしました。



11月5日 茨城県 保健福祉部 海野副参事より受領

# SDGs 推進プロジェクト『あゆみ』2021年度の推進について

## 社会情勢の変化に対応するため

- ・「筑波銀行SDGs宣言」は2019年4月に策定・宣言し2年が経過しました。最近ではSDGsへの取り組みに対し、社会情勢が加速度的に変化しています。2021年3月に金融庁・東証がCG（コーポレートガバナンス）コードにおいて、TCFD導入の改定を予定しています。当行もこの変化に対応するため、SDGs推進プロジェクト『あゆみ』推進策を変更し、積極的に対応していきます。
- ・SDGsの推進については、銀行にとって重要な課題であることから、SDGs推進委員会の委員長を頭取に変更し、強化していきます。

### 変更前



### 変更後



# SDGs 推進プロジェクト『あゆみ』2021年度の推進について

## 社会情勢の変化に対応するため

- ・社会情勢の変化に対応するため「特に強化しなければならない取り組み」をきめて、積極的に対応していきます。
- ・取り組みを強化した事項について、行内でタスクフォースを立ち上げ、実務者レベルで協議実行します。

### 【特に強化しなくてはならない取り組み】

#### 〈ESG金融の推進徹底〉

- ・PRB（責任銀行原則）署名検討
- ・ESGを勘案した営業店・本部態勢の整備

#### 〈地球環境に配慮した行動〉

- ・行内におけるCO2の削減
- ・TCFD提言の賛同への対応

### 【取り組み強化に向けた対応策もしくは戦術課題】

- ・PRB（責任銀行原則）に当行が署名する方向で検討する。
- ・ESGを考慮した更なる事業性評価の深掘りを実施する。
- ・行員への教育によりSDGs・ESGを浸透させる。

- ・CO2削減目標の設定を検討する。
- ・TCFD提言に賛同するに当り対応を検討する。



# 筑波銀行